

教 育 方 針	【学校教育目標】「夢に向かって のびる 杉っ子 」 ～わくわく登校 生き生き学習 笑顔でつながるみんなの学校づくり～ 【めざす子どもの姿】 ○進んで学ぶ子 【確かな学力】 ○郷土を愛する子【高い自己有用感】 ○強い心と体をつくる子【健やかな体】 ○心を磨く子 【豊かな心】	重 点 目 標	①特別支援教育・児童支援体制の充実と啓発、人権教育の推進 ②あいさつ運動の地域への広がり ③ ICT 活用による主体的に学びに向かう力と表現力の育成 ④メディアコントロールとたくましい体や心の育成 ⑤ CS との連携によるふるさとキャリア教育の発展 ⑥読書活動の充実・発展 ⑦児童の成長につながる働き方改革の推進と業務改善 ⑧メンターチームを核とした次世代育成システムの構築
------------	---	------------------	--

（ 4：十分に達成できた 3：ほぼ達成できた 2：あまり達成できず 1：ほとんど達成できず ）								
評価項目	具体項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価基準	自己評価	目標の達成状況	次年度への改善方策
確 か な 学 力	○子ども同士がつながる話し合い活動。	○児童の発言が単発で終わることが多い。	○友達との話し合いを通して学習内容を理解できている。	○授業で行う話し合い場面(ねりあい)で児童が発言をつなげあうことで学習内容の理解を深める。	◆授業中の教員による見取りと児童アンケートにおける肯定的項目達成 70 %以上。	3	・児童の意識は86.6%と高まっているが、教員の達成度は57.5%と低い。 ・教員アンケート67.5%。学習中、課題が早く終わった児童への手立てとしてはよかったが、個に応じてという点では物足りなかった。「読み取る力」が全体的に低い。 ・図書館「利用」はできたが、「学習活用」までは至らなかった。達成率57.5%。	・学活の研究に継続的に取り組むことを通して、他教科での話し合いも活性化させていく。 ・「スマイルネクスト」をより効果的に使えるよう考えていく。「読み取る力」をつけていくために、音読、読書への取り組みを図書館とも連携して工夫していく。他教科にも読みの力を広げていく。 ・図書館との連携を定期的に図っていく。図書館の年計を活用し見通しを持って取り組む。教科書に紹介されている図書を展示するなど読書への意欲付けをする。
	○基礎学力の定着	○算数の力が低い。読み取りの力が低い。	○個に応じた課題に取り組み、力を伸ばすことができる。	○モジュールの時間に「スマイルネクスト」を活用する。	◆教員へのアンケート達成率 80 %以上。	3		
	○読書活動・図書館活用の充実と発展	○学習での図書館利用が減っている。	○図書や図書館を活用した学習を積極的に行う。	○月に一回は図書や図書館を活用した学習を行う。	◆教員へのアンケート達成率 80 %以上。	3		
豊 か な 心	○あいさつの充実	○学校関係者にはあいさつをするが、地域へのあいさつが弱い。 ○あいさつの二極化が見られる。 ○決まったとことだけであいさつをしている。	○いつでも、どこでも、誰にでもあいさつをしている。	○朝の3点あいさつ（学校前・児童玄関・教室に入るとき）に取り組む。特に、教室に入るときにあいさつについては、学活（2）で現状や課題について話し合う中で解決策を選んで実践して振り返るサイクルに取り組む。 ○児童会活動と連動させ、あいさつを活性化させる。 ○あいさつの詩を朝の会で読む時間を設ける。	◆児童アンケートであいさつに関する項目で肯定的意見 80 %以上 ◆保護者アンケートにおいてあいさつに関する項目で肯定的意見を支部ごとに集計し、その結果を児童と共有してあいさつに対する意識を高める。	3 2	・学活（2）で決めたことを実践して振り返り活動が効果的だった。 ・教室に入るとき、地域の方へのあいさつが課題である。 ・児童玄関での運営委員会の児童に対するあいさつは良くなった。 ・児童玄関以外の場所でのあいさつや学級や学年での差があることが課題。	・研究と連動させ、学活（2）を充実させる。 ・あいさつ強調週間を設定して意識を高める。 ・運営委員会を中心として、児童会活動と連動させあいさつの充実を図る。（あいさつ標語、あいさつキャラクター、あいさつバッジなど）
	○体力の向上	○新体力テストでの柔軟性・50m走ともに県平均より少し低い。特に女子の体力向上が課題。 ○姿勢の保持や大きなけがを未然に防ぐことができる運動能力や体幹づくりが課題。 ○メディアコントロールの推進	○自分の体の柔軟性や走力を向上させようとする意識を持ち運動する。 ○よい姿勢を保持して学習できたり、自分の身を守るための運動能力を向上させようと努力したりする。 ※立腰 ○正しくメディアを活用し関わるができる。	○体育の授業を中心に、柔軟性や走力を向上させる運動を取り入れる。 ○朝の会での「ワンミニッツエクササイズ」等の実施（学級で工夫）や学級のみんで楽しく挑戦できる運動（大縄跳び等）を行う。 ○町教育会健康体育部の取り組みやPTA 保体部との連携を生かす。	◆長座体前屈や50m走を春と秋に計測して比較し、向上した児童 70 %を目指す。 ◆児童アンケート「良い姿勢で学習した」等の達成率 75 %以上を目指す。 ◆年2回のメディコンウィークの結果を考察し、意識の向上を図る。	3 2 3	・柔軟性は向上。50m走、握力、シャトルランに課題が見られる。 ・ワンミニッツエクササイズのマンネリ化が課題。大きなけがをする児童は減少した。 ・第1回、第2回の提出率、達成率ともに90%以上で意識が高まってきている。	・体育のウォーミングアップ時にできる運動を考える。握力については、オリジナルワンミニッツエクササイズを取り入れてみる。 ・朝の短時間でできる楽しい運動を学級で考える。 ・体育で反射能力や瞬発力、体幹を養う運動を取り入れる。 ・外遊びについては、体育委員会で再度、遊び方を検討。・メディアと正しく関わるための啓発パンフレット（県配布等）を上手に活用していく。
保 護 者 ・ 地 域 と の 連 携	○地域とともに当事者意識でつくるみんなの学校	○HP 担当の負担が大きく、更新が遅れている。 ○職員室前の地域掲示板が子どもたちが見る（興味をもつ）ものになっていない。 ○コミュニティ・スクールの準備委員会が発足した。	○メディアの特長を活かしてタイムリーに情報発信している。 ○子どもたちが自分の地区の行事や特色を知り、地域に関心をもっている。 ○コミュニティ・スクール導入に向けて、学校の役割が明確になっている。	○HP 更新計画を立て、更新業務を分担する。 ○6地区の行事や特色について、子ども向けの地区だより（公民館依頼検討）を掲示し、2ヶ月～学期に1回更新する。 ○総合的な学習の内容について、地域学校協働活動や6地区の行事や特色と関連させて検討する。 ⇒職員研修	◆年間行事、学年の校外学習等を更新している。 ◆6地区の情報が発信されている ◆年度内に、総合的な学習の年間計画の見直しができています。 ⇒R5年度より実施	3 3 3	・分担によりHP担当の負担が軽減された。校外学習等学年行事の更新ができていない学年があった。 ・各地区の公民館さんのご協力により、掲示板が更新された。 ・3年生が地域学習のみ、手話を4年生に移行して、4年生は年間を通して福祉について学習する。	・HP担当からの声かけを継続する。学年通信をアップする等、負担なく更新できるとよい。 ・各地区の行事写真を掲示したり、休憩時間に公民館職員から声かけをしていただく等、より子どもたちの目に留まる掲示にしていく。各学年便り掲示下に、総合的な学習の記録ファイルを増設する。 ・3、4年生は、R5年度は移行期間となるが、4年生で手話を実施する。